

2024年4月23日

丹青社、福岡ソフトバンクホークス グッズストアで 空間データ取得・活用サービス「FAC+®」による検証を実施

～利用者動向データに基づいた空間づくりの提案でスタジアムショップ特有の課題解決を支援～

商業施設・文化施設などの空間づくりをおこなう株式会社丹青社（本社：東京都港区／代表取締役社長：小林統／以下、丹青社）は、福岡ソフトバンクホークス公式グッズストア「HAWKS STORE HOME」店舗内で、丹青社が提供する空間に関するデータ分析とデザインを掛け合わせ、空間価値を最大化するサービス「FAC+®（ファクタス）」による利用者動向分析を行い、最適な店舗運営を実現する施策検証を行います。本検証は、福岡ソフトバンクホークス株式会社（本社：福岡県福岡市／代表取締役社長 CEO：後藤芳光）、ファナティクス・ジャパン合同会社（本社：東京都港区／マネージングディレクター：川名正憲）の協力のもと実施します。



HAWKS STORE HOME

本検証では、「HAWKS STORE HOME」店舗内に設置したカメラでエリアごとの滞在時間やレジ待機列の状況などの情報を一定期間取得します。試合直前の時間帯に混雑が集中するという、スタジアムショップならではの特性に起因する店舗の課題を、利用者動向データをもとに定量的に把握し、それに対する施策の立案・効果検証を行うことで、利用者の満足度や店舗の売上の向上を目指します。

丹青社は今後もさまざまな施設の特性に合わせ、その価値を最大化する空間づくりを推進することにより、事業者の課題解決やエンドユーザーのさらなる体験価値向上を支援します。

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸

Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp

お問い合わせフォーム：<https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

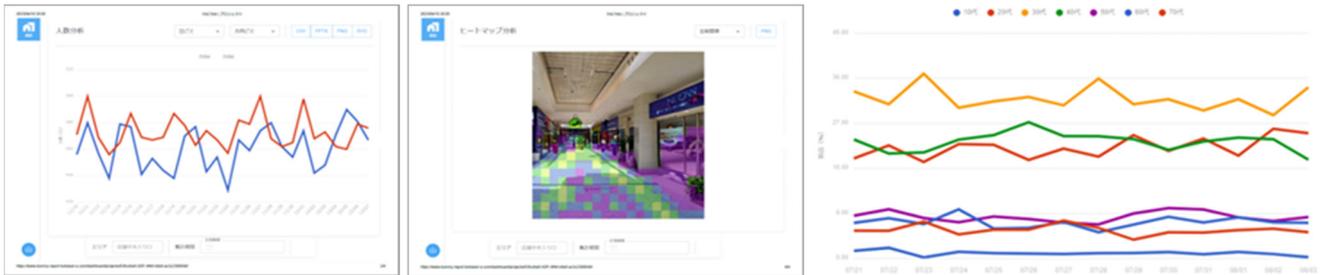
■検証概要

「HAWKS STORE HOME」では、試合前の店舗内が混雑する時間帯において、利用者がレジ待機列や混雑状況を見て購入をためらうことで、売り逃しにつながっているのではないかと懸念が挙げられていました。

そこで、混雑による売上機会損失の解消や商品レイアウトの最適化を図るため、レギュラーシーズン期間中に店舗内に WEB カメラを設置し、入店者属性、特定エリアへの滞在時間、混雑エリアなどのデータを取得し、多角的な視点から分析を行います。

店舗が持つ課題と実態を可視化し、混雑時のレジの最適化や店舗内回遊を活性化させる VMD（ヴィジュアルマーチャンダイジング）などの改善施策を実施することで、空間づくりを通して施設特性に合わせた課題の解決を目指します。

【取得データイメージ】



日別・時間帯別ごとの人数分析

滞在時間ヒートマップ分析

性別・年代別属性分析

※上記グラフや画像は、データの書き出しイメージです。実際の取得データではありません。

■コメント

ファナティクス・ジャパン合同会社 リテール部 リテールマネージャー 成清慶太氏

丹青社との新たな取り組みを通じて得られる情報とデータを活用することでスタジアムショップの特性に合わせた課題の解決に取り組むと共に、ホークスファンの皆様により革新的なサービスと唯一無二の購買体験を提供できるよう目指してまいります。

■「FAC+®」について

WEB カメラやセンサーを通じて空間にまつわるさまざまなデータを取得・可視化することで、これまで感性やセンスによって行われてきた空間づくりのプランニングやデザイン・設計に定量的なデータを掛け合わせ、空間における課題抽出から解決策の提案までをワンストップで行うことで空間価値を最大化するサービスです。

■ 「FAC+®」の特長

1. データ取得から改善提案まで一気通貫で対応

「FAC+®」では空間データの取得およびレポートだけでなく、要望に応じた改善提案のプランニングやデザインまで一気通貫したサービスを提供しています。

「FAC+®」で取得したデータをもとに、さまざまな空間づくりを手がける丹青社が持つ知見・経験に基づいた、プランニングやデザイン・設計の提案を行います。提案に基づいた施設が完成した後も、「FAC+®」によって効果検証を行うことで、施策の効果測定や更なる改善のPDCAを回すことが可能です。

2. 1日から利用できる短期対応型データ取得

データ取得は、レンタルカメラにて1日から対応しています。本サービスは1年間の利用契約などの制約を受けないため、必要な時に必要な日数だけのデータ取得を実現しています。

※長期でご利用いただく場合にも、稼働日数に応じた利用料制で利用いただけます。

3. 空間に合わせた柔軟な分析

物販店舗だけでなく、飲食店、商業施設、オフィス、博物館、イベントといったさまざまな空間データ取得ノウハウに基づいた、柔軟な分析が可能です。施設の課題感に応じた分析手法で、価値のあるデータ活用を実現します。

4. 迅速なデータレポート

取得データは、最短翌日にレポート。既存施設のデータを取得し、推進中のプロジェクトの企画やデザインに活用することが可能です。

■ 丹青社について

「ここを動かす空間づくりのプロフェッショナル」として、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、人が行き交うさまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりのプロセスを一貫してサポートしています。

社名 : 株式会社丹青社
所在地 : 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 19F 〒108-8220 (本社)
創業 : 1946年10月
資本金 : 40億2,675万657円 (2023年1月31日現在)
上場 : 東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 9743/業種名: サービス業)
URL : <https://www.tanseisha.co.jp>

※ニュースリリースに掲載された内容は発表日現在のものです。

その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

リリースに関するお問い合わせ先 :

株式会社 丹青社

広報室 担当: 石綿、寺戸

Tel: 03-6455-8115 Mail: pr-staff@tanseisha.co.jp

お問い合わせフォーム: <https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>